

手話言語の国際デー ブルーライトアップ

手話言語の国際デー・国際ろう者週間とは？

毎年**9月23日**は「手話言語の国際デー」です。

この日は、2017年12月19日に国連総会で決議され、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう、国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

9月23日が選ばれた理由は、1951年に世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)が設立された日であることに由来します。

また、1958年9月にWFDの主導のもと、イタリアのローマで、最初の世界ろう者会議が開催されたことを記念して、**9月の最後の1週間は「国際ろう者週間」と定められました。**

「手話言語の国際デー」や「国際ろう者週間」の期間中、記念イベントとともに、WFDのロゴの色である「世界平和」を表す青色のライトアップが世界各地で行われています。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

2026テーマ

ろう者人権宣言

Declaring Deaf
People's Human Rights

この活動に賛同し、吉川市でもブルーライトアップを行います

ライトアップ概要

実施期間：令和8年9月18日(金)～9月23日(水)

点灯時間：日没～消灯まで

場 所：おあしす・吉川駅南口なまずモニュメント

イメージ写真

